

# 大地の職人からのメッセージ

message from the workman

「美味しい」は、作物が健全に育った証です。大地の職人は、みんなに美味しいものを食べてもらいたくて「作物の健全」を追い求めます。そのために作物を見つめます。まるで作物の求めに耳をそばだてるかのように。

大地の職人は知っています。作物の求めに応じ、最適なとき、最適な量で、温度、水分、養分を与えることができれば、自らの求めたものに手が届くことを。

大地の職人はいろいろな技を持っています。心土破碎、明暗渠、中耕培土など水分や温度を調節する技。土の中で少しずつ分解されて作物の養分になる有機質の技や、素早く吸収される養分を必要量与えるのに適した科学肥料の技。作物の生育を邪魔する雑草や病害虫を抑える農薬の技。

大地の職人は心にとめています。技におぼれてはいけなと。美味しいものを食べてもらいたい。そのために作物の健全を求めるのだ。技はあくまでもその手段であって目的ではないのだと。大切なのはその技を使う心意気だと。有機質の技だけでは、育ち盛りの作物に不足したり逆に熟年では食べすぎになる。だから科学肥料の技と組み合わせて作物の求めにあわせることだ。農薬の技も国が安全だと登録した範囲内だからよいだけでなく、作物やその周りに気を配れば、もっとその回数と量が少なくても技が生きるのだ。もちろん、一つひとつの技の切れ味も大切だ。小さすぎれば雑草に負け、大きすぎれば病気や虫にやられやすい。温度や水分養分の技の切れ味が、農薬の技の切れ味に影響するのだ。

今金を訪れた際は、田や畑を覗いてみてください。作物は大きくなりすぎず小さすぎず、斎一に育っているはず。作物だけでなくその周りの手入れもされています。それが美味しいものを食べてもらいたいという大地の職人の技と心意気です。そしてそれを感じていただけたなら、大地の職人に声をかけていただければ幸いです。